JavaScript 入門講座

JavaScript 第4回/全6回

練習

- 1. setTimeout 関数を利用して、5秒後に文字が書き換わるようにしてみましょう。
- 2. 余力があれば、 5秒ごとに "Hello World" と "Good Morning" の表示が入れ替わるようにしてみましょう。

setTimeout 関数の使い方:

ほぼ setInterval と同じです。ただし、関数は1回しか呼ばれません。

```
function display() {
   const element = document.getElementById('hello');
   element.innerText = "Good Morning";
}
setTimeout(display, 1000);
```

配列

たくさんの変数を組として扱う仕組み

添字	0	1	2	3	4	5	6	7
中身	3	1	4	1	5	9	2	6

作り方:

```
const pi = [3, 1, 4, 1, 5, 9, 2, 6];
console.log(pi[2]);
```

配列と繰り返し

```
const list = [2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, 19, 23, 29, 31, 37];
for (let i = 0; i < list.length; i++) {
    console.log("配列の" + i + "番目は" + list[i] + "です。");
}
```

配列への代入

配列の中身を変更したくなったら、直接代入も出来ます。

```
let list = [2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, 19, 23, 29, 31, 37];
list[2] = 4;
for (let i = 0; i < list.length; i++) {
  console.log("配列の" + i + "番目は" + list[i] + "です。");
}
```

やってみよう

let list = [2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, 19, 23, 29, 31, 37];

上の数値配列について、以下のプログラムを書いてください。

- 1. 各値を並べられた順番に表示する
- 2. 合計値を算出する
- 3. 平均値を算出する
- ※出来るところまでで構いません。

やってみよう1!

ブラウザの情報を取得する。

JavaScript 入門講座 第4回

やってみよう2!

ブラウザをコントロールする。

イベント1

- あるイベントが発生したときに、 JavaScript プログラムを起動させることが出来 ます。
- これをイベントの登録などと表現し、プログラムが起動することを発火などと表現します。

イベント2

HTML と JavaScript ファイルは、別ファイルに分けておきたい。

```
function buttonClick(){
    alert('Click');
}

const button = document.getElementById('myid2');
button.addEventListener('click', buttonClick);
```

ファイルへの保存

```
<a href="#" id="weather" download="sample.html">ダウンロード</a>
```

```
document.getElementById('weather')
.addEventListener('click', function(event) {
    // 保存する文字列の Blob オブジェクトを作成
    const blob = new Blob(["<html><body><h1>hello</h1></body></html>"],
    {type: 'text/html'});
    // a 要素の href 属性に Object URL を セット
    event.currentTarget.href = window.URL.createObjectURL(blob);
});
```

JavaScript 入門講座 第 4 回 11

ファイルの読み込み

今ダウンロードしたファイルを読み出してみましょう。 ファイルの読み書きには通常 File API を使用します。

```
<input id="myfile" type="file">
const f = document.getElementById('myfile');
f.addEventListener('change', function(evt) {
    const input = evt.target;
    const file = input.files[0];
    const reader = new FileReader();
    reader.onload = () => {
       // 読み出し結果の表示
        console.log(reader.result);
    };
    reader.readAsText(file); // 読み込み開始
});
```

CSV ファイル

- Excel のような表計算のような構造をもったデータ
- 1行で一つのデータの塊を表し、各データは記号「,」で区切ります。

タイトル	著者	発行年
博士の愛した数式	小川 洋子	2003
円周率πの不思議	堀場 芳数	1989
超幾何関数入門	木村 弘信	2007

タイトル,著者,発行年 博士の愛した数式,小川 洋子,2003 円周率πの不思議,堀場 芳数,1989 超幾何関数入門,木村 弘信,2007

JavaScript 入門講座 第 4 回 13

CSV ファイルの読み込み

```
// 配列を定義
const csvArray = [];
// 改行ごとに配列化
const lines = body.split(/\r\n|\n/);
// 1行ごとに処理
for (let i = 0; i < lines.length; ++i) {
    let cells = lines[i].split(",");
   csvArray.push(cells);
console.log(csvArray);
```

※画面表示などで使用する制御文字エスケープシーケンスについては、 JavaScript 本格入門 P73 を参照

JavaScript 入門講座 第 4 回 14